

システムサポート、富士建築センターの業務支援システムを ジャストシステムの「UnitBase」で構築、基盤にはAWSを採用

株式会社システムサポート(本社・石川県金沢市、代表取締役社長・小清水良次、以下 STS)は、第三者機関として住宅性能評価や建築確認検査などの事業を行う富士建築センター株式会社(本社・神奈川県川崎市、代表取締役・竹内富士雄、以下富士建築センター)の業務支援システムを構築しました。アプリケーションには、株式会社ジャストシステム(本社・東京都新宿区、代表取締役社長・関灘 恭太郎、以下ジャストシステム)のノンプログラミング Web データベースソフト「UnitBase」を、また基盤にはアマゾン ウェブ サービス (AWS) を採用しました。構築は2015年10月からおよそ1ヶ月半かけて行い、2016年1月より本番稼働を開始しています。

従来、富士建築センターは自社が担当する検査の進捗管理や履歴などの業務データを Access や Excel で管理していました。しかし社内に専任の情報システム担当者がおらず、項目の追加といった設定の変更が社内で簡単に行えないなど利便性に課題を感じていました。このため、操作が簡単で専門知識が不要な UnitBase を導入することを決めました。

UnitBase は構築も容易である点が特徴ですが、富士建築センターでは自社のノウハウ・リソース不足を勘案し、導入作業を STS に依頼。既存システムの詳細資料はありませんでしたが、STS が内容を解析のうえ、データ移行や構築を実施し業務支援システムを立ち上げました。

また、基盤については、サーバ管理の手間を軽減したいという富士建築センターの意向により、STS が AWS の利用を提案。AWS 利用料は時間課金で、夜間・休日など利用しない時間帯は費用が発生しない点が決め手となり、AWS の採用を決めました。STS は AWS の初期設定を実施したほか、平日は20時30分に自動で電源断が実施されるようバッチを作成、また自動バックアップも設定しました。

■業務支援システムの内容

- ・ 自社が担当する検査の進捗管理や履歴閲覧
- ・ 証明書などの帳票作成
- ・ 書類の保管場所の管理

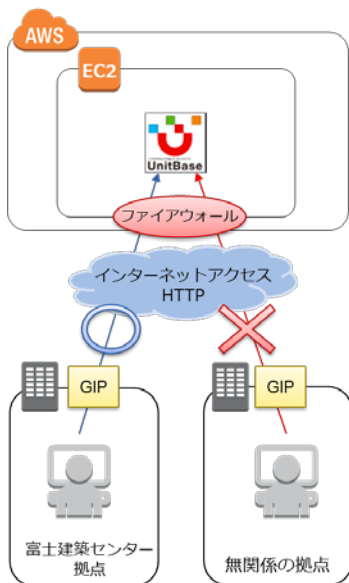
■今回の導入による効果

- ・ 帳票の変更など簡単な設定変更は自社で行えるようになった
- ・ バックアップサーバを使わずに、AWS サービス内のみでシステムのバックアップが自動取得可能となった
- ・ 複数人が同時に立ち上げての利用も安心して行えるようになった

■今後のシステム展開

- ・現在、さまざまなサーバに分散している他事業の業務支援システムも本システムに統合することを計画している
- ・システムが整い次第、自社管理の体制にすることを視野に入れている（項目の追加や年度・書式の変更なども社内でも実施）

■システム構成図



※画像は右記よりダウンロードできます。 <http://www.sts-inc.co.jp/images/UnitBase.png>

●富士建築センター株式会社について

2000年10月の設立以来、指定確認検査機関や登録住宅性能評価機関をはじめ、建築認証・調査業務を幅広く行っています。

●株式会社システムサポートについて

1980年の会社設立以来、ITを活用したシステムの企画から開発、運用・保守までのサービスをワンストップで提供するだけでなく、オリジナル製品である建て役者（工事管理ソリューション）や、クラウド工房 powered by AWS（クラウドソリューション）の提供、さらにはIT技術者の教育まで、お客様のICT環境を支援するサービスを幅広い業界で提供しています。

システムサポートは、AWS上での顧客の新規アプリケーションの設計、移行、または構築を支援するプロフェッショナルサービス企業であるAPNアドバンスドコンサルティングパートナーです。2015年3月にはAPNパートナーアワード「Rising Star of the Year」を受賞しています。

※記載された製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。アマゾン ウェブ サービス

ス、AWS は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

本件に関する報道関係者の問い合わせ先

株式会社システムサポート

コーポレートコミュニケーション室・城(きずき)

TEL:03-3342-9611 FAX:03-3342-3952

<http://www.sts-inc.co.jp>